

フラットファイルフォーマット定義書

2026 年 6 月

目次

1. 改訂履歴	1
2. 概要	2
3. フォーマット定義	3
3.1. 観測点情報ファイル	3
3.2. 震源パラメータファイル	6
3.3. 地震動強さ指標ファイル	9

1. 改訂履歴

1. 改訂履歴

作成年月日	バージョン	内容
2026 年 6 月	1.0	初版作成

2. 概要

2. 概要

本書は表 2-1 に示す 3 種類のフラットファイルのフォーマット定義を示すものです。

表 2-1 フラットファイル一覧

No.	フラット ファイル種別	ファイル名	説明
1.	観測点情報 ファイル	site_schema.tsv	観測点の情報が記載された TSV ファイル です。
2.	震源パラメータ ファイル	source_schema.tsv	気象庁震源リスト（地震月報（カタログ 編） ¹ または一元化处理震源リスト ² ）、F- net メカニズム解カタログ ³ 、断層パラメ ータ（SRCMOD 断層モデルデータベース ⁴ 及び追加断層モデル）の 3 つのデータを 記載した TSV ファイルです。
3.	地震動強さ指標 ファイル	smrec_schema.tsv	強震動観測記録から計算した地震動強さ指 標とそれに関連づく震源、観測点が記載さ れた TSV ファイルです。

¹ 気象庁 地震月報（カタログ編）：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>

² 気象庁一元化处理震源リスト：<https://hinetwww11.bosai.go.jp/auth/JMA/jmalist.php?LANG=ja>

³ F-net メカニズム解カタログ：
<https://www.fnet.bosai.go.jp/event/search.php?LANG=ja>

⁴ SRCMOD 断層モデルデータベース：<http://equake-rc.info/srcmod/>

3. フォーマット定義

3. フォーマット定義

本章では、3 種類のフラットファイル（観測点情報ファイル、震源パラメータファイル、地震動強さ指標ファイル）のフォーマット定義を記載します。

3.1. 観測点情報ファイル

観測点の情報が記載された TSV（Tab-Separated Values）ファイルです。表 3-1 の項目がタブ区切りで記載されています。

表 3-1 観測点情報ファイル記載項目

No.	列ヘッダ	列名	単位	データ 源泉	備考
1.	siteid2	観測点 ID	—	—	—
2.	start_date	観測点運用開始日	—	—	—
3.	end_date	観測点運用終了日	—	—	—
4.	site_code	観測点コード	—	—	—
5.	site_name	観測点名（日本語）	—	—	—
6.	lon	観測点経度	度	—	—
7.	lat	観測点緯度	度	—	—
8.	elevation	観測点標高	m	—	—
9.	sensor_depth_glminus	観測点センサの GL—	m	—	—
10.	obs_organization_id	機関 ID	—	—	表 3-3
11.	obs_network_id	観測網 ID	—	—	表 3-4
12.	installation_situation_id	設置場所 ID	—	—	表 3-2
13.	dist_vf_mf13_nejapan	東北火山フロントからの距離	km	—	表 3-5
14.	dist_vf_mf13_swjapan	南西火山フロントからの距離	km	—	表 3-6
15.	vs10	表層 10m 平均 S 波速度	m/s	観測網 ⁵ の土質 データ	—
16.	vs20	表層 20m 平均 S 波速度	m/s	観測網 ⁵ の土質 データ	—
17.	vs30	表層 30m 平均 S 波速度	m/s	観測網 ⁵	—

⁵ 強震観測網 K-NET・KiK-net : <https://www.kyoshin.bosai.go.jp/>

3. フォーマット定義

No.	列ヘッダ	列名	単位	データ 源泉	備考
				の土質 データ	
18.	meshcode250	250m メッシュコード	—	—	—
19.	avs30	AVS30	m/s	J-SHIS ⁶ 表層地 盤デー タ	—
20.	meshcode3	3 次メッシュコード	—	—	—
21.	d1100	VS1100 上面深さ	m	J-SHIS ⁶	—
22.	d1400	VS1400 上面深さ	m	深部地	—
23.	d1700	VS1700 上面深さ	m	盤構造	—
24.	d2100	VS2100 上面深さ	m	モデル	—
25.	dbase	地震学的基盤面深さ	m	データ	—

表 3-2 installation_situation_id の説明

ID	設置場所	説明
1	GROUND	地表
2	BOREHOLE	地中
3	INHOUSE	建物内
4	OCEAN-BOTTOM	海底
10	OTHER	その他
99	UNKNOWN	不明

表 3-3 obs_organization_id の説明

ID	機関名
01	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (NIED)

表 3-4 obs_network_id の説明

ID	観測網名	説明
01	K-NET	防災科学技術研究所 全国強震観測網 K-NET
02	KiK-net	防災科学技術研究所 基盤強震観測網 KiK-net

⁶ J-SHIS : <https://www.j-shis.bosai.go.jp/>

3. フォーマット定義

表 3-5 東北火山フロントデータの説明

No.	経度	緯度
1	150	45.9
2	146.9	44.3
3	145	43.6
4	141.2	42.6
5	141	39.3
6	140.1	37.2
7	138.7	36.1
8	139.7	34.1
9	140.2	31
10	141.6	24

表 3-6 南西火山フロントデータの説明

No.	経度	緯度
1	136.9	36.2
2	134.9	35.3
3	133.7	35.3
4	132	34.9
5	131.6	33.4
6	130.8	31.5
7	129.7	29.5
8	128.3	27.9
9	124	24.5
10	122	24.5

3. フォーマット定義

3.2. 震源パラメータファイル

気象庁地震月報（カタログ編）、F-net メカニズム解カタログ、SRCMOD 断層モデルデータベースの3つのデータを記載した TSV ファイルです。表 3-7 の項目がタブ区切りで記載されています。

表 3-7 震源パラメータファイル記載項目

No.	列ヘッダ	列名	単位	データ源泉	備考
1.	eq_source_id	震源 ID	—	—	—
2.	segment_idx	セグメント ID	—	—	—
3.	jem_origin_time	気象庁月報オリジンタイム	—	気象庁地震月報 (カタログ編)	—
4.	jem_lat	気象庁月報震源緯度	度	同上	—
5.	jem_lon	気象庁月報震源経度	度	同上	—
6.	jem_depth	気象庁月報震源深さ	km	同上	—
7.	mjma	気象庁月報マグニチュード	—	同上	—
8.	eq_location_type_id	地震発生位置種別 ID	—	同上	表 3-8
9.	nf_origin_time	F-net オリジンタイム	—	F-net	—
10.	nf_lat	F-net 震源緯度	度	F-net	—
11.	nf_lon	F-net 震源経度	度	F-net	—
12.	nf_depth	F-net 震源深さ	km	F-net	—
13.	mw	F-net モーメントマグニチュード	—	F-net	—
14.	strike1	F-net 走向角 1	度	F-net	—
15.	dip1	F-net 傾斜角 1	度	F-net	—
16.	rake1	F-net すべり角 1	度	F-net	—
17.	strike2	F-net 走向角 2	度	F-net	—
18.	dip2	F-net 傾斜角 2	度	F-net	—
19.	rake2	F-net すべり角 2	度	F-net	—
20.	eq_mechanism_type_id	F-net メカニズム種別 ID	—	F-net	表 3-9
21.	cmt_depth	F-net MT 深さ	km	F-net	—
22.	varred	F-net バリエーション クシオン	—	F-net	—

3. フォーマット定義

No.	列ヘッダ	列名	単位	データ源泉	備考
23.	mxx	F-net Mxx	—	F-net	—
24.	mxy	F-net Mxy	—	F-net	—
25.	mxz	F-net Mxz	—	F-net	—
26.	myy	F-net Myy	—	F-net	—
27.	myz	F-net Myz	—	F-net	—
28.	mzz	F-net Mzz	—	F-net	—
29.	exp	F-net Mpp 単位	Nm	F-net	—
30.	eq_event_name	断層モデル識別名	—	SRCMOD、追加 断層モデル	—
31.	width	断層セグメント幅	km	SRCMOD、追加 断層モデル	—
32.	length	断層セグメント長さ	km	SRCMOD、追加 断層モデル	—
33.	top_center_lat	断層セグメント上端中 心緯度	度	SRCMOD、追加 断層モデル	—
34.	top_center_lon	断層セグメント上端中 心経度	度	SRCMOD、追加 断層モデル	—
35.	strike_deg	断層セグメント走向角	度	SRCMOD、追加 断層モデル	—
36.	dip_deg	断層セグメント傾斜角	度	SRCMOD、追加 断層モデル	—
37.	h_top	断層セグメント上端深 さ	km	SRCMOD、追加 断層モデル	
38.	eq_location_type_id_source	地震発生位置種別 ID の評価方法	—	—	表 3-10

表 3-8 eq_location_type_id の説明

ID	地震発生位置種別	説明
1	CRUSTAL	内陸地殻内
2	INTERPLATE	プレート間
3	INTRAPLATE	プレート内
99	UNKNOWN	不明

3. フォーマット定義

表 3-9 eq_mechanism_type_id の説明

ID	メカニズム種別	説明
1	STRIKE SLIP	横ずれ（下記以外）
2	REVERSE FAULT	逆断層（ $45 < \lambda < 135$ ）
3	NORMAL FAULT	正断層（ $-135 < \lambda < -45$ ）
99	UNKNOWN	不明

λ : すべり角[°]

表 3-10 eq_location_type_id_source の説明

ID	判定方法
1	沈み込むプレート形状モデル、震源位置による
2	地震調査研究推進本部の評価による
3	沈み込むプレート形状モデル、震源位置、震源メカニズム解による

3. フォーマット定義

3.3. 地震動強さ指標ファイル

強震動観測記録から計算した地震動強さ指標とそれに関連づく震源、観測点が記載された TSV ファイルです。表 3-11 の項目がタブ区切りで記載されています。

表 3-11 地震動強さ指標ファイル

No.	列ヘッダ	列名	単位	備考
1.	smrec_id	記録 ID	—	
2.	filename	波形ファイル名の ベース部分	—	波形ファイル名の 拡張子を 抜いた文 字列
3.	site_id	観測点 ID	—	表 3-1 の site_id2
4.	eq_source_id	地震 ID	—	表 3-7 の eq_source_id
5.	length	記録長（サンプル数）	—	
6.	samplefreq	サンプリング周波数	Hz	
7.	maxacc0	最大加速度 NS	cm/s/s	
8.	maxacc1	最大加速度 EW	cm/s/s	
9.	maxacc2	最大加速度 UD	cm/s/s	
10.	maxaccrd050	最大加速度 RotD050	cm/s/s	
11.	maxaccrd100	最大加速度 RotD100	cm/s/s	
12.	maxvel0	最大速度 NS	cm/s	
13.	maxvel1	最大速度 EW	cm/s	
14.	maxvel2	最大速度 UD	cm/s	
15.	maxvel0_filchb1	最大速度 NS (フィルター適用※1)	cm/s	
16.	maxvel1_filchb1	最大速度 EW (フィルター適用※1)	cm/s	
17.	maxvel2_filchb1	最大速度 UD (フィルター適用※1)	cm/s	
18.	maxvelrd050	最大速度 RotD050	cm/s	
19.	maxvelrd100	最大速度 RotD100	cm/s	

3. フォーマット定義

No.	列ヘッダ	列名	単位	備考
20.	maxvelrd050_filchb1	最大速度 RotD050 (フィルター適用※1)	cm/s	
21.	maxvelrd100_filchb1	最大速度 RotD100 (フィルター適用※1)	cm/s	
22.	maxaccv	最大加速度三成分ベクトル合成	cm/s/s	
23.	maxvelv	最大速度三成分ベクトル合成	cm/s	
24.	maxvelv_filchb1	最大速度三成分ベクトル合成 (フィルター適用※1)	cm/s	
25.	sival	SI 値	—	
26.	sindo	計測震度	—	
27.	rsaccc0d005t0002	加速度応答 NS 5%減衰 0.02s	cm/s/s	
28.	rsaccc0d005t0003	加速度応答 NS 5%減衰 0.03s	cm/s/s	
...	...	以下、計算周期※2 の違い	—	
85.	rsaccc0d005t2000	加速度応答 NS 5%減衰 20.00s	cm/s/s	
86.	rsaccc1d005t0002	加速度応答 EW 5%減衰 0.02s	cm/s/s	
87.	rsaccc1d005t0003	加速度応答 EW 5%減衰 0.03s	cm/s/s	
...	...	以下、計算周期※2 の違い	—	
144.	rsaccc1d005t2000	加速度応答 EW 5%減衰 20.00s	cm/s/s	
145.	rsaccc2d005t0002	加速度応答 UD 5%減衰 0.02s	cm/s/s	
146.	rsaccc2d005t0003	加速度応答 UD 5%減衰 0.03s	cm/s/s	
...	...	以下、計算周期※2 の違い	—	
203.	rsaccc2d005t2000	加速度応答 UD 5%減衰 20.00s	cm/s/s	

3. フォーマット定義

No.	列ヘッダ	列名	単位	備考
204.	rsaccrd050d005t0002	加速度応答 水平二成分 RotD050 5%減衰 0.02s	cm/s/s	
205.	rsaccrd100d005t0002	加速度応答 水平二成分 RotD100 5%減衰 0.02s	cm/s/s	
206.	rsaccrd050d005t0003	加速度応答 水平二成分 RotD050 5%減衰 0.03s	cm/s/s	
207.	rsaccrd100d005t0003	加速度応答 水平二成分 RotD100 5%減衰 0.03s	cm/s/s	
...	...	以下、RotD と計算周期※2 の組み合わせの違い	—	
321.	rsaccrd100d005t2000	加速度応答 水平二成分 RotD100 5%減衰 20.00s	cm/s/s	
322.	maxsvad005	長周期地震動指標（絶対 速度応答最大値 5%減 衰）	cm/s	
323.	drt2ac0	加速度波形 NS 成分の継 続時間 Type2（累積エネ ルギーより算出）	s	
324.	drt2ac1	加速度波形 EW 成分の継 続時間 Type2（累積エネ ルギーより算出）	s	
325.	drt2ac2	加速度波形 UD 成分の継 続時間 Type2（累積エネ ルギーより算出）	s	
326.	drt2ard050	加速度波形 RotD50 継続 時間 Type2（累積エネ ルギーより算出）	s	
327.	drt2ard100	加速度波形 RotD100 継続 時間 Type2（累積エネ ルギーより算出）	s	
328.	rcrdlength	記録継続時間	s	
329.	p_traveltime	P 波理論走時（オリジン タイムからの経過秒）	s	
330.	s_traveltime	S 波理論走時（オリジン タイムからの経過秒）	s	

3. フォーマット定義

No.	列ヘッダ	列名	単位	備考
331.	fault_dist	断層最短距離	km	
332.	lower_period	S/N 比判定に用いたスペクトルの有効下限周期	s	-1 : 未判定
333.	upper_period	S/N 比判定に用いたスペクトルの有効上限周期	s	-1 : 未判定
334.	multiple	余震等複数地震を含むかのフラグ	—	1 : 含む 0 : 含まない

※1 チェビシエフフィルタ (fl = 0.2Hz, fh = 20Hz, fs = 40Hz, ap = 0.1, as = 10) 適用済の値。

※2 計算周期 [s] : 0.02,0.03,0.04,0.05,0.06,0.07,0.08,0.09,0.10,0.11,0.12,0.13,0.15,0.20,0.22,0.25,0.30,0.35,0.40,0.45,0.50,0.60,0.70,0.80,0.90,1.0,1.1,1.2,1.3,1.5,1.7,2.0,2.2,2.5,3.0,3.5,4.0,4.5,5.0,5.5,6.0,6.5,7.0,7.5,8.0,8.5,9.0,9.5,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20